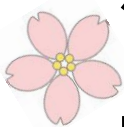


平成29年度 大泉学園 教育目標 年間教育活動

自ら考え、豊かに表現できる子 ゆめの実現に向けて挑戦する子の育成

- ①生活科・総合的な学習の時間の充実
 - ・自ら課題を持ち、協働的に解決する力の育成
 - ・異学年交流の充実とプレゼン力の向上
- ②ノート指導の充実
 - ・ノート掲示板、ノート展覧会の実施。「思考が見える」ノート指導の研究に取り組む
- ③基礎学力・学習規律の向上
 - ・朝学、大泉検定、自学ノート
- ④外国語活動の充実
 - ・1年生から英語授業→9年間の系統指導
- ⑤キャリア教育の充実 ハローワーク・職場体験
 - ・大泉「ドリームファイル」の活用
→自己の生き方を考える子の育成
—— 夢の実現へ ——



自分のよさを知り、人とつながり 協働する子の育成

- ①グリーンスクールプログラムの推進
 - ・全学級で行動の指標作り、道徳授業を実施。自己の行動を振り返り、改善できる子の育成。
→大阪教育大学との共同研究により、取組みの成果を検証
- ②人権の研究授業の実施
 - ・自尊感情の向上、集団作り・仲間作りをテーマに、研究授業を行う。
- ③全学年でチャレンジ学級との交流会 温かな人間関係作り
- ④人権教育の取組みの公開(学校HPや学校便り)
 - ・人権講演会、オープンスクールで全学級で道徳授業の公開。『心育て通信』による啓発活動



本校の教育目標

夢にむかって自分らしく輝く子の育成

< めざす子どもの姿 >

学びつづける子 ゆめをめざす子 なかよくする子
自主 創造 信愛



本校の「施設一体型 小中一貫教育」

◎地域に誇りをもち、さまざまな人と出会う中で、自己の生き方を考え、自分の夢の実現のためにチャレンジし続ける心身ともにたくましい子どもを育成する。

◎4・3・2制を取り入れた「発達段階に応じたきめ細かな指導」。

- 前期** 生活・学習習慣の確立。基礎学力の定着。
- 中期** 問題解決能力。アクティブラーニング・自学自習する力。
- 後期** 応用力。目標に向かってやりぬく力。



健やかな体づくり、基本的な生活習慣、グリーンな行動力

※9年間で、子どもの持てる力を最大限に伸ばす

< 小→中の段差の解消 >

1. 小学生と中学生との交流
 - ・高学年の部活動・生徒会行事への参加
 - 小学生と中学生の交流授業(生活・総合)
2. 高学年の一部教科担任制
 - 英語や理科、図工などで、中学校教員による小学生への授業→9年間のきめ細かな指導の実現
3. 学園行事 合同体育大会 合同発表会 合同作品展

小中一貫教育

～豊かな人間関係の形成～

体力の向上に努め、安全・安心な学校生活をつくる子どもの育成

- ①体力・運動能力の向上
 - ◎大泉 チャレンジタイムの実施(大縄・かけ足)
 - 全校「おおなわチャレンジ」大会
 - ・記録会の開催→目標に向かって努力する態度
 - ◎スポーツフェスティバル(5年以上)
 - 運動に親しみ、積極的に取り組もうとする態度
- ②はつらつカード週間 はつらつカードで、自己の生活のチェックと改善
- ③避難訓練の充実 火災・地震、不審者を想定



思いやりの気持ちを持ち 学校生活をよりよくしようとする子どもの育成

- ①なかよしタイムの充実 大泉杯の開催(小学校)
 - ・異年齢集団での競い合いを通して、自己をいかす経験をさせる。→自尊感情の向上・思いやりの心
- ②児童会・生徒会活動の充実
 - ・あいさつ運動(あいさつコンテスト)、募金活動 清掃活動、リサイクル運動、目安箱の設置など。
- ③もくもく清掃デー 全校で掃除の仕方を共通化
 - ・自分たちの生活を自分たちで整える態度の育成を育てる。→自主・自立から夢の実現へ
- ④部活動の充実 5・6年から入部可能
 - 子どもの可能性を伸ばし、協力することを学ぶ

